

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度(昭和48年度~)		根拠法令・規程等		教育公務員特例法	
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問	担当課(室)	学校教育課	
	中項目	基本施策	01	未来を支える人材を育むまちづくり			職・氏名	指導係長・岡部高弘	
	小項目	施策	02	小・中学校			電話	64-1840	
事務事業名		09		教員研修事業		合先	このシート作成に要した時間		1.0 時間

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市内小・中学校教職員		
目的(何のために)	教員の指導力・実務能力向上		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	教員の資質向上が図られ、学校力が向上する。		

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	教育研修所運営事業	備前市教育研修所を組織し、主体的な研修を実施する。研修所は教科・領域ごとに部会があり、全教職員が参加する。		
	教育研修所補助金事務	市教育研修所各部会で実施される研修の謝金・需用費等の補助を行う。		
	校内研修支援事業	各教科の指導や特別支援教育等に係る校内研修に市教委指導主事が参加し、指導助言を実施する。		
	岡山県総合教育センター利用負担金事務	市費教職員(幼稚園教諭・市費栄養士等)が県が主催する研修会に参加する際、1回1,500円の負担金が発生するため、その負担金の事務を行う。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	666	633	724
	必要人員費	人員費	千円	0.13人 1,248	0.19人 1,698	0.13人 1,274
	事業費	事業費	千円	1,914	2,331	1,998
	国庫支出金	受 益 者 負 担 金	千円			
	繰入金	市 債	千円			
一般財源	その他()	千円				
受益者負担比率	%		1,914	2,331	1,998	
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		

結果指標	研修会実施回数	説明	市教育研修所各部会で実施した研修の合計回数		
	結果指標量	回	105	108	137
	対前年比	%	-	102.9%	126.9%
	活動コスト	円	1,125,000	1,701,000	1,380,040
単位当たりコスト		10,714	15,750	10,073	

事業の成果		平成22年度					平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
指導訪問等実施率	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値			
		目標値(A)	2	2	2	2			
		実績値(B)	1.8	2.1	2.3	到達目標値			
	達成率(B/A)		90.00%	105.00%	115.00%				
成果指標設定の考え方・式や説明									
学力向上等のための指導訪問が1校当たり年平均2回実施 指導訪問回数/小・中学校数									

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	市民ニーズ
	必要性	コスト	目的達成度
効率性の評価	コスト	市民参画度	
	目的達成度		
妥当性の評価		A	
効率性の評価		B	
目的達成度		A	

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	教材開発や指導案づくり、授業公開等の研修を通して、指導力の向上を図ると共に、各校で情報交換を行うことで事業の効率性を高め得ていくよう努力している。						

総合評価		B	
備前市の教育力の向上のためには、教員の指導力向上に直結する本事業は必要不可欠である。児童生徒に確かな学力を身につけさせていくためにも、授業公開を中心とした研修会の実施は重要である。		総合評価	
		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	今後とも教育委員会として積極的に関与し、教育水準の向上のために取り組みを継続していきたい。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな